



サクラ・はうす



2022年3月28日 No.198

思い出をたくさん

今年の学年末もオミクロンが流行しいろんな規制や不安がある日々でした。そんな中、来年度は、相模小の移転に伴い、サクラはうすに在籍している相模小学校のお友達は、全員退所となりました。思えば、コロナによって、夏休みのプールも一緒に泳いだことなかった、一度もお餅つきをしたこともない、できる限りやったイベントも縮小や規制が多かった。そこで最後に思い出に残ることを何かと考えたのが(お楽しみ学習発表会)でした。体育館・公民館祭りに出品した作品をバックに、思いっきり楽しみました。劇は、セリフは自分で考え(3年生はお話まで自作です)、お面や小道具を作り、ダンスは 毎月ゆみ先生に教えて頂いた、長い曲をかってよく踊り切りました。高学年の音楽はさすが、下級生の目が釘付けになりました。さいごのフォークダンスは、みんなが入所した時習い覚えたサクラはうすの定番ダンス。学年、男女、学校関係なくみんなが仲良しこんには、さようなら。 日曜日に足を運んでくださり、たくさんの拍手をありがとうございました。



徳育・知育・食育……変わらない3本の柱

3月13日 新1年生の入所説明会がありました。14名の子供たちと保護者の方が来られました。今年も皆さんが楽しみにしているおやつの試食会はできませんでしたが、手作りの野菜たっぷりのやきそばとウインナ、フルーツいつものメニューをバックに詰めてお持ち帰りしていただきました。「野菜大丈夫かしら？」そんな声も。畑から取れたてのキャベツ、ニンジン、カキナ・・・入所当時食べられなかった子がいつのまにかおいしい、おいしいと。不思議がある・そんなお話をしました。



きくまの森の一角にピザ窯を、原先生 石橋先生に組み立てていただきました。さあ、夏休みのお楽しみ。畑から収穫した夏野菜のピザが焼けるかな？先生方は、大学をご卒業、4月からは社会人となります。長い間サクラはうすの子供たちがお世話になりました。ありがとうございました。